

527

吹き込む北風の冷感、窓の床を出てストーブに
焚きつけた。昨日午前一時半、約一時間暖い湯
り着いてみた。

仕
ニ
エ
ー
ラ
ン
ド

日本捕虜兵の報

近頃車次外ルミルを撮れぬのは聊か閑口だ。
警備は増えたか、米米に食事は常道に還元する
のは危険を感じる、相変らずの便秘、午の四日目に
漸く若干の便通を見た。

ニューカニアで捕虜とされた兵士の監禁地
ニュージブで暴動を起し、四十一名執殺され
六十三名の重傷を負い病院に収容され、護衛兵
一名即死、将校及び兵が一名死、負傷したと云々
今日のニュースは、日本人には至大ショックだ。

午後七時、兵の六名会談した川先生の佛教
講話があった、頗る興味深くと謹聴した。また次
に節制するつもりである。

三日四日(木)

カリマンタンRelocation Centerからの面会来訪
者の直接談話に接するところ、同地に在るニ
世は殆ど全命自衛的、復讐を拒絶し、注目と慕いてぬ
と言ふ。其の理由は、自米市民権を無視し、今に至りて、
露兵に應ずべき理由は無いとの事だ。布達では
予定の千五百人も超過して約七千四百有人に達
してると報せらるが、大陸では各地のセンターでは
露兵者は頗る少ないと云ふ。今回 Family Center

528.

に移動命令を受けた人々は、11人2名、K-212八名
K-112十一名合計廿一名にのみ先は本に確もしく
家族の収容時期及び当校設備等に関しても、尚
ほ公表が早い。

送別会

午後六時半食堂にてK-1十一名先着者達の為の
有志の送別会が催された。出席者約二百名に達し、
富山県の司会、長松大隊長の送別の辞に付き、平
林破魔雄大の代表に謝辞を述べた。ヒーロー
のクワッパ及びチース、ソーセイ等々の被監禁者
らに、酒の饗応が施された。柳井一剣大司令に
全員の数々が演出されたが、例に依って、一棟の
悲壮雰囲気は見れぬ。尚ほ~~右~~二名
に付き、昨日の景頃明日アーカンソウ州のRelocation
centerに移動するやう電命が下され、右の
人達は再び請願者で~~ある~~って全センターで家
族と一緒に暮らす手筈とのこと。全センターには、此等
家族のサ一定のバラツキに収容し家族と同棲
されておくと傳へらる。

三月五日(金)

一昨日小指の便が僅らであったが、今日迄約五日間
本格的な便通を見なかった。昨日三四程便所通ひ
をやった結果、辛うじて便らしいものがあった。それも順
調であらず、頗る強烈な粘着力のあるもので、排泄に
最も困難に、相率悩んだ。毎日運動していても